



YASKAWA

安川電機 (6506)

2009年度第2四半期決算説明会 要約版

(2009年10月20日)

取締役社長 利島 康司

本資料に記載されている業績見通し等に関する将来の予測は、当社が現時点で入手可能な情報と、合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績はさまざまな要因により、この見通しとは異なることがあります。

実際の業績等に影響を与えうる重要な要因には、当社の事業領域を取り巻く国内外の経済情勢、当社製品・サービスに対する需要動向、為替・株式市場の動向などがあります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定されるものではありません。

事業セグメント別売上高構成比

当社製品活用事例

情報

【主要製品】
コンピュータ周辺機器、レーザー応用システム
情報処理ソフト・サービス

システムエンジニアリング: (S)

【主要製品】
鉄鋼プラント用電機システム
上下水道用電気計装システム
新システム機器等



ロボット: (R)

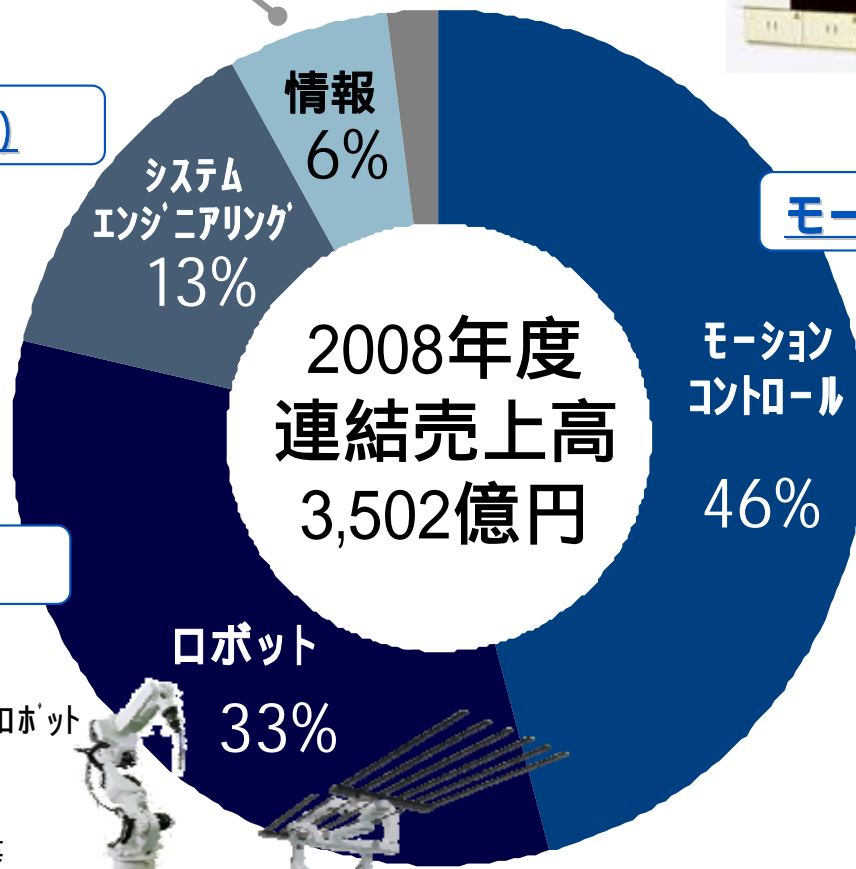
【主要製品】
・産業用ロボット:
アークスポット溶接・塗装ロボット、FPD搬送ロボット
新世代ロボット
・半導体製造装置用ロボット:
半導体製造装置用クリーン・真空ロボット等

アーク溶接ロボット
による自動車
部品溶接



新世代ロボット
によるロボット組立

当社製品活用事例



【電子部品】
チップマウンタ



【工作機械】
タッピングマシン

モーションコントロール: (M)

【主要製品】
ACサーボモータ、コントローラ、リニアサーボ、インバータ等



仕向先別売上高構成比

アジア

【主要子会社】

- ・安川電機(上海)有限公司(中国)
- ・シンガポール安川電機(シンガポール)
- ・韓国安川電機(韓国)
- ・台湾安川開発科技股份有限公司(台湾)
- ・首鋼モトマン有限公司(中国)
- ・モトマンマザーソロボティクス(インド)

欧州

【主要子会社】

- ・欧州安川電機(ドイツ)
- ・モトマンロボティクスヨーロッパ(スウェーデン)
- ・モトマンロボテック(ドイツ)

米州

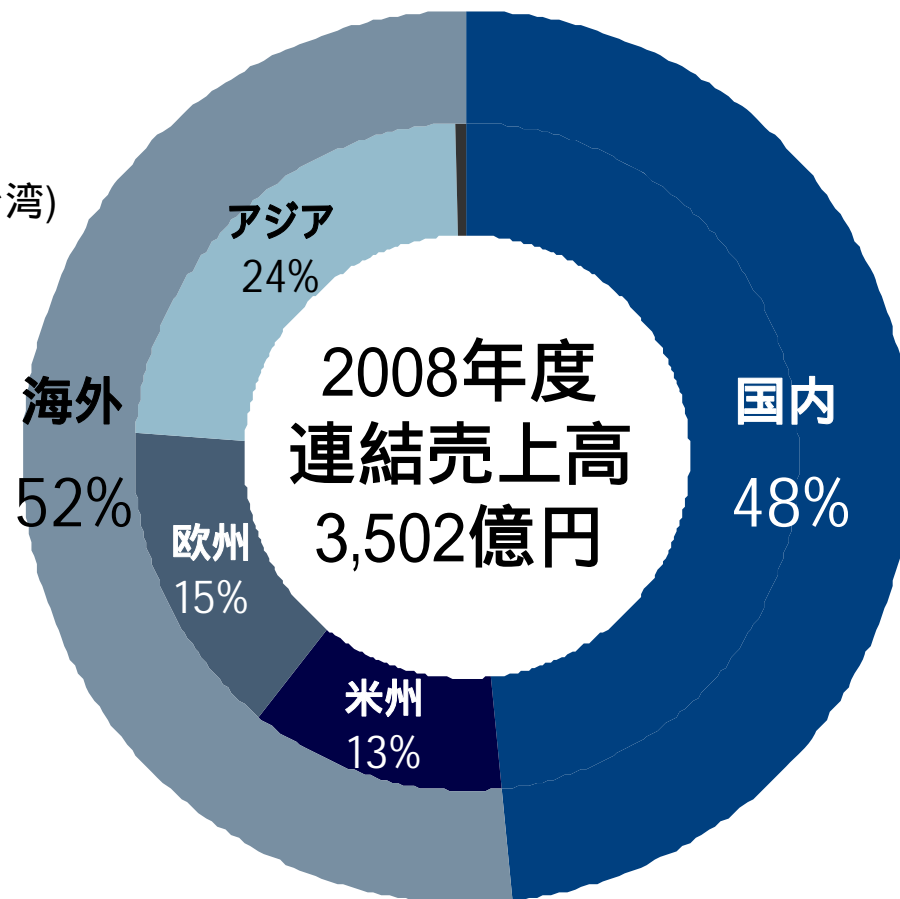
【主要子会社】

- ・米国安川電機(米国)
- ・モトマン(米国)

日本

【主要子会社】

- ・ワイ・イー・データ
- ・安川情報システム
- ・安川エンジニアリング
- ・安川コントロール
- ・安川モートル



2009年度第2四半期(4月-9月)決算のポイント

予想どおりの厳しい経営環境だったが、(M)の回復が早く中国・アジアが牽引し、売上・利益とも当初計画を上回る

売上高	983億円	計画比 +9.3%
営業利益	83億円	計画比 +16億円
経常利益	80億円	計画比 +19億円
当期純利益	62億円	計画比 +7億円

(M) 中国・アジアの回復が中心となり、インバータはインフラ関連および空調等省エネ需要、ACサーボは液晶・半導体向けが売上増加に寄与

(R) 客先投資抑制の影響により厳しい状況は続いたが、計画の売上は確保
受注は液晶で回復の兆し

(S) 鉄鋼向けを中心として売上・利益を維持

(情報) 情報投資の減少が影響し弱含み

2009年度第2四半期決算連結セグメント別業績

(M)の回復が牽引し、当初計画を上回る

(単位:億円、%)

	09上期		期初外発比		08上期	前年同期比	
		期初	増減額	増減率		増減額	増減率
売上高	983	900	+84	+9.3%	1,894	911	48.1%
(M)	450	400	+50	+12.5%	909	460	50.5%
(R)	251	240	+12	+5.0%	638	387	60.5%
(S)	181	170	+12	+7.0%	197	16	7.9%
(情報)	73	75	1	1.6%	111	38	33.9%
営業利益	83	100	+16	n.m.	158	242	n.m.
(M)	39	53	+13	n.m.	102	142	n.m.
(R)	52	52	1	n.m.	41	94	n.m.
(S)	14	11	+4	+35.8%	6	+8	+115.5%
(情報)	6	4	2	n.m.	3	10	n.m.
経常利益	80	100	+19	n.m.	166	248	n.m.
当期純利益	62	70	+7	n.m.	95	158	n.m.

営業利益増減要因分析(09年度上期計画 実績)

(単位:億円)

09/上期計画

09/上期実績

100

83

売上増に伴う
利益増

経費削減
効率化
➢経営スリム化

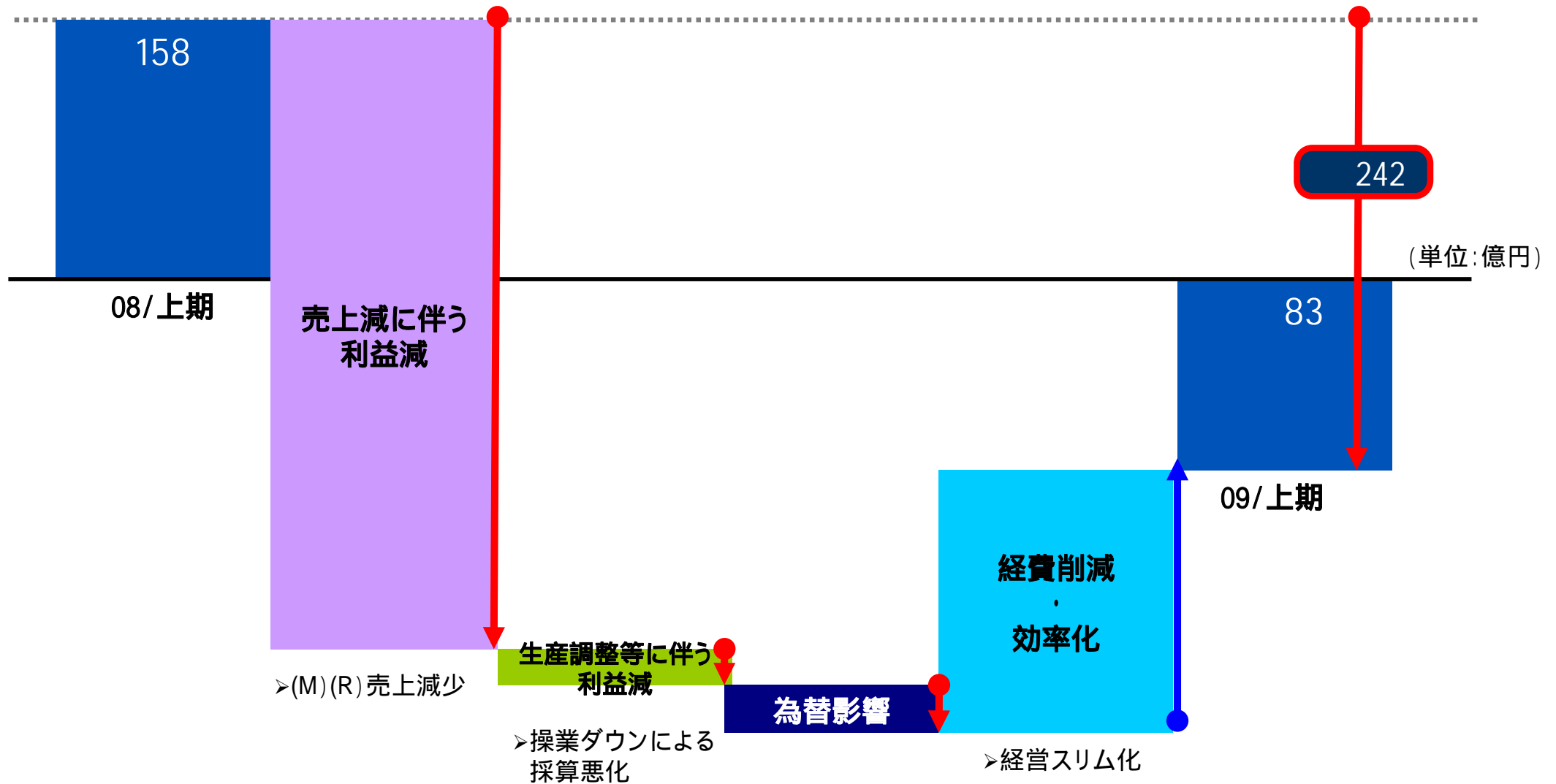
為替影響

生産調整等に伴う
利益減
➢操業ダウンによる
採算悪化

+ 16

➢(M)売上増加

営業利益増減要因分析 (08年度上期 09年度上期)



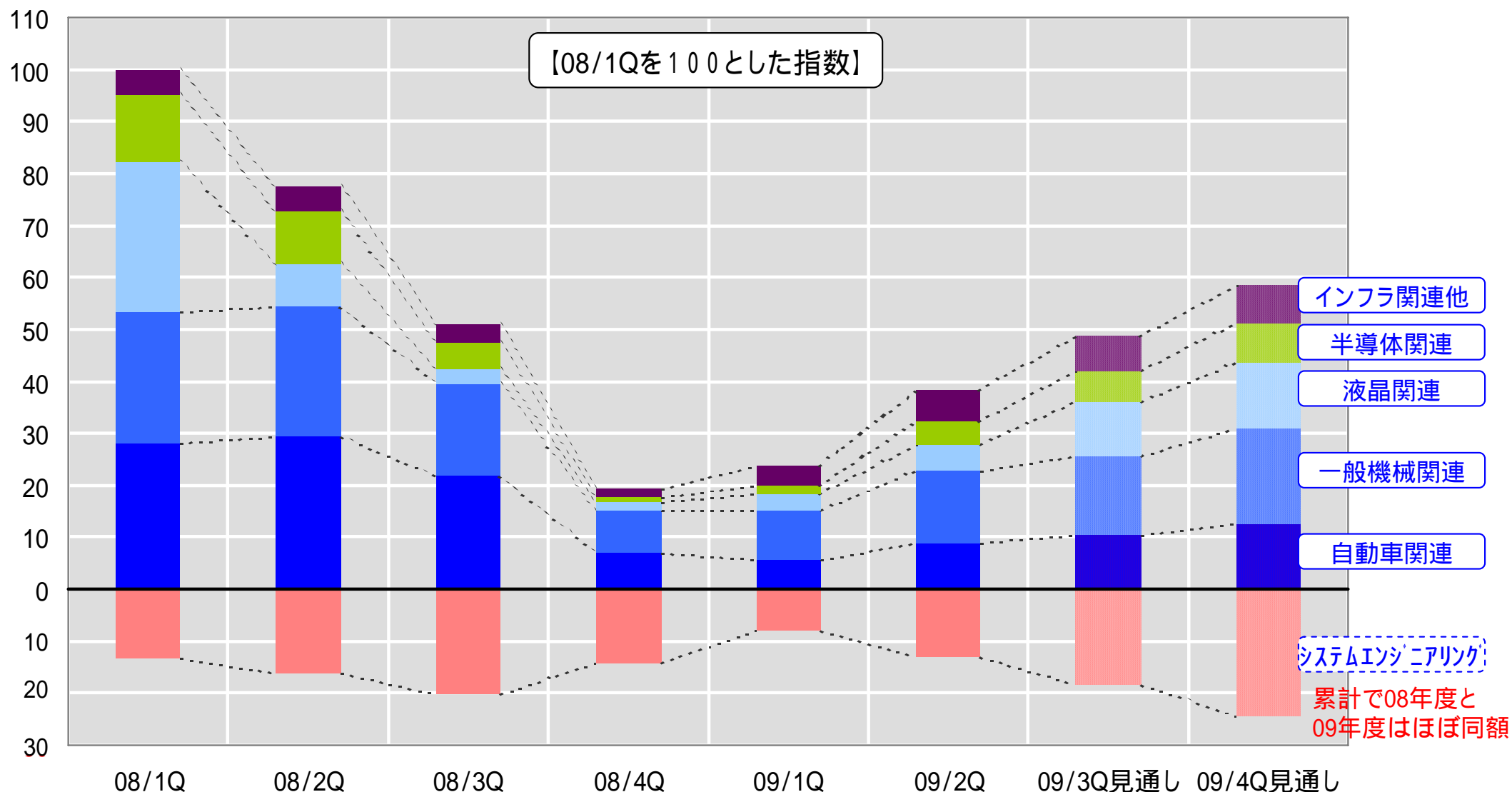
2009年度連結業績見通し

下期は期初計画並みを見込み、通期計画を見直し

売上高	2,280億円	期初計画比 + 3.6%
営業利益	65億円	期初計画比 + 15億円
経常利益	65億円	期初計画比 + 15億円
当期純利益	48億円	期初計画比 + 7億円

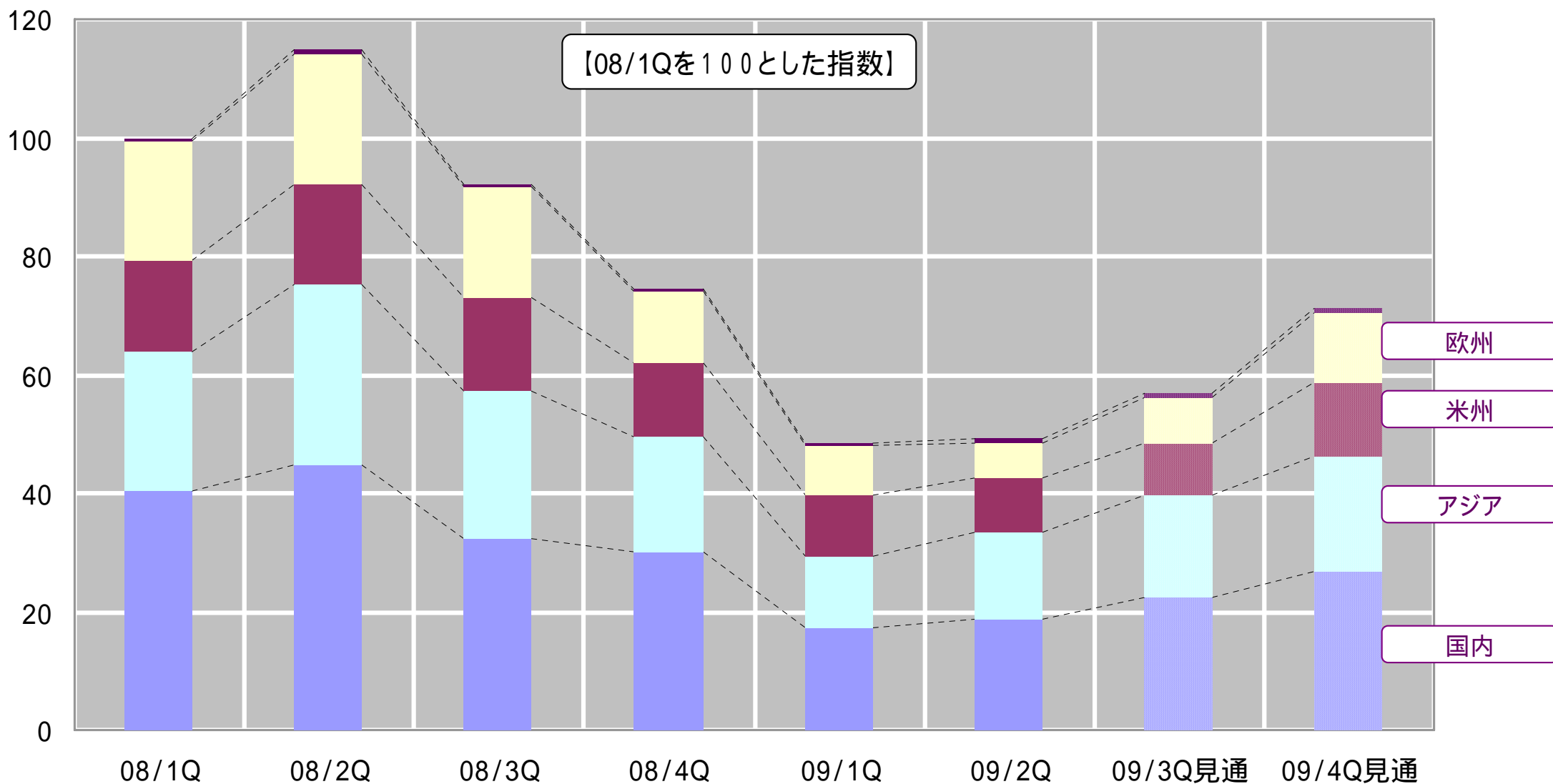
国内市場別受注動向(単独)

09/4Qは08/4Qボトムからの3倍まで回復を見込む



地域別売上動向(連結(M)+(R))

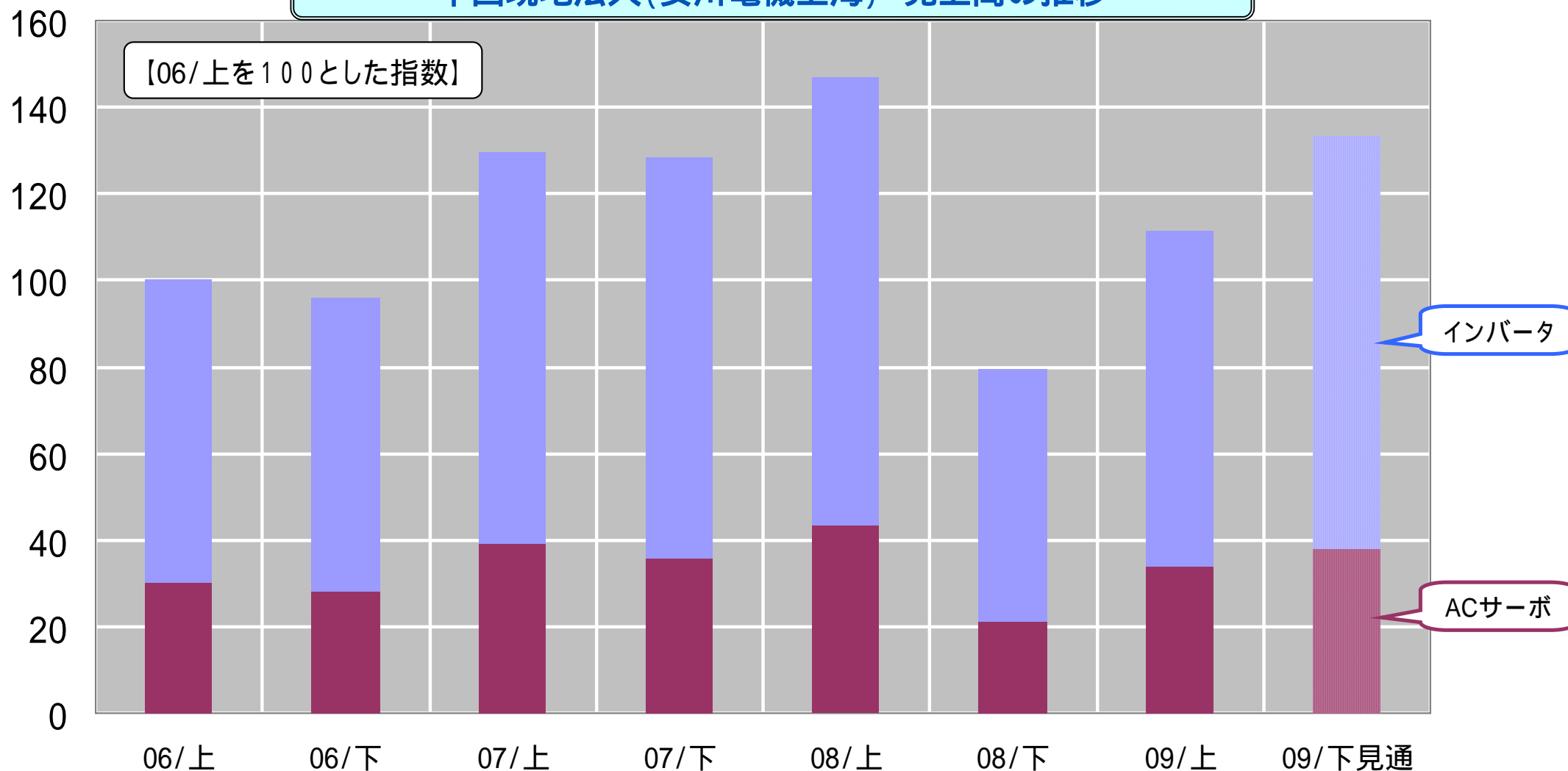
09/4Qは09/1Qボトムから50%増を見込む



中国におけるモーションコントロールの動向

好調なインフラ投資に加え、環境エネルギー関連等の新用途を開拓

中国現地法人(安川電機上海) 売上高の推移



リスク要因

為替相場の変動

急激な円高の進展など、為替相場の動向によっては、当社業績に悪影響を及ぼす可能性がある。

(ご参考)	2008年度上期為替実績	1ドル = 105.6円	1ユーロ = 163.1円
	2008年度下期為替実績	1ドル = 96.2円	1ユーロ = 129.9円
	2009年度上期為替実績	1ドル = 95.6円	1ユーロ = 132.1円
	2009年度下期為替想定	1ドル = 90.0円	1ユーロ = 120.0円

市場環境

世界経済低迷の長期化による受注減少影響等に注意を要する。

原材料・部品価格の上昇

価格の変動が不安定であるため、高騰により利益を圧迫する恐れがある。